

大山崎町地域公共交通住民部会 参考資料

■対象者の整理

昨年度の経緯および意見照会の内容を踏まえ、地域公共交通の対象者として、町の内外の「利用者」の視点から必要となる補完的な公共交通を整理する。

■利用者の現状

町内：

健全者（若者）・・・現状で問題ない。新たな交通は不要。

交通弱者（高齢者、子育て世代、身障者）・・・不十分

町外：

主に観光目的と想定すると、駅付近がほとんどであり、現状で特に問題はない。

ただし、さらに来訪者を増やして、町全体の活性化を図るためには、やや不十分

■対象とすべき利用者

課題を考える上での対象者として、「**交通弱者**」に焦点を当てる。最重要な対象者を中心とすることにより、論点が整理される。なお、健全者の利用を拒むものではない。

■考えられる対策

交通バリアフリー・・・駅、道路の整備（歩道整備・道路拡幅も含む）

補完する交通の整備

- ・コミュニティバス
- ・福祉有償運送（長寿苑バスの活用）
- ・デマンドタクシー、デマンドバス

※これらの対策は、意見照会のまとめから得られるものと、ほぼ一致。